

メタル触媒リサイクル研究部会

研究ポイント	<ul style="list-style-type: none"> □『発生量の少ないメタル触媒コンバーターの高効率商流』の研究 □『メタル触媒コンバーターからの貴金属回収技術の効率向上』の開発
目的	使用済自動車から回収したメタル触媒コンバーターからの高効率な貴金属資源リサイクル事業を確立する
背景	<ul style="list-style-type: none"> ✓使用済車から回収した、部品および素材の一つ一つの価値を高めて収益アップを図る時代に突入 ✓触媒コンバーターは、個買い取引から貴金属分析取引へと価値を高める方向に動きつつある ✓しかし、貴金属分析取引は、現在の商流では取引完了まで長期の日数を要する(4~6ヶ月) ✓そして、貴金属分析取引は、1ロット纏まった数量が必要であり取引までに時間と保管場所が必要となる ✓触媒コンバーターからのメタルハニカムの取り出しも、時間と手間がかかり収益が減ってしまう
構想	<p>【対象スクラップ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.触媒コンバーター(特に貴金属回収が困難なメタルハニカムをターゲット) 2.物流の効率を上げることを目的に、「箱付きECU」も回収対象とする <p>【高効率商流&回収技術】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.MARCの破碎設備を活用して、触媒コンバーターから貴金属粉を回収する技術を応用する 2.ロットを纏めるための、参画事業者からの回収手法を研究する 3.物流および処理効率を上げるための、触媒コンバーターの前処理技術を開発する 4.物流コスト低減手法を研究する(箱付きECUの混載や複数拠点回収など)
部会構成	<ul style="list-style-type: none"> ・解体事業者⇒対象部品を使用済車から効率よく回収&前処理 ・回収拠点事業者(解体事業者)⇒参画解体事業者から触媒コンバーターを回収→束ね→出荷 ・再資源化前処理事業者⇒MARCコーポレーション(破碎設備活用) ・物流業者⇒回収拠点事業者(解体事業者)~再資源化前処理事業者(MARC)の物流 ・コーディネーター⇒事務局or商社(ホンダトレーディング)